

既存データベースを用いた疫学調査研究

研究分担者：林雅晴・淑徳大学看護栄養学部看護学科（R1年度のみ）

研究要旨 既存データベースを用いた疫学調査

研究分担者の中川、山之内らのグループと、既存データを活用し、選別基準を決めた上で、既存のデータベースからてんかん患者を抽出し疫学調査研究を進めた。

A. 研究目的

我が国ではてんかんに関する全国規模の疫学調査は行われていない。既存データベースを用いた疫学調査研究を行い、てんかんの有病率・発症率を明らかにする。

B. 研究方法

研究分担者の中川栄二先生、山之内芳雄先生と協働して、既存のデータベースを活用し、選別基準を決めた上で、てんかん患者を抽出するための調査を進めた。

（倫理面への配慮）

東京医科歯科大学研究倫理審査委員会の承認を受けた

C. 研究結果

てんかん（ICD10 コード G40*）を含む傷病名を付与された患者から、てんかん患者数を集計するフローチャート作成のためのシミュレーションを行った。

D. 考察

てんかんに関する診療行為、病名、処方などを組み合わせることで、既存データからてんかんのため診療を受けている患者を同定するための要素を構築した。

E. 結論

既存のデータベースを用いて、てんかん患者を同定する方法の可能性を検討し、今後の疫学調査に応用可能か検討した。

F. 健康危険情報

なし

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし